

ジョン・グリッグス・トンプソン

ジョン・グリッグス・トンプソンは1932年10月13日、米国カンザス州オタワで生まれた。現在、フロリダ大学ゲインズヴィル校数学科の大学院教授である。

トンプソンは1955年にエール大学で学士号を取得し、1959年にシカゴ大学で博士号を取得した。指導教授は、範疇論の設立者のひとりであるソンダース・マクレーンであった。

トンプソンはハーヴァード大学助教授を務めた後、1962年にシカゴ大学数学部の教授に任命された。1970年に英国に赴き、ケンブリッジ大学で数学のラウズ・ボール教授職に就いた。ケンブリッジで23年間を過ごした後、米国に戻り、フロリダ大学での現職に就いている。彼はケンブリッジ大学の数学の名誉教授でもある。

ジョン・グリッグス・トンプソンはイリノイ大学、エール大学、オックスフォード大学、オハイオ州立大学から名誉博士号を授与されている。1967年に米国国立科学アカデミーの会員に選ばれ、1998年にはアメリカン・アカデミー・オブ・アーツ・アンド・サイエンスのフェローになった。また、ロンドン・ロイヤル・ソサエティーとアカデミア・ナツィオナーレ・ディ・リンチエイの外国人会員でもある。トンプソンは、その傑出した数学への貢献により、フィールズ・メダル、シニア・ベリック賞、シルヴェスター・メダル、ウォルフ賞、ポアンカレ・メダル等、数々の国際的な賞を受賞している。2000年には、ビル・クリントン米国大統領からナショナル・メダル・オブ・サイエンスを授与された。

トンプソンとともに群論の最も重要な定理のひとつを証明した故ウォルター・フェイトは、トンプソンについてこう語っている。「彼は重要な問題を研究し、困難によってひるむことのない数学者である。彼はそのような困難を、しばしば新しいアイディアを導入することで克服し、そのアイディアは後に絶大なインパクトを将来の研究の発展に及ぼすことになるのである。」そのインパクトは、彼が数多くの研究生や他の数学者たちとアイディアを分かち合う寛容さゆえに、ますます多大なものとなっている。